

断水となっていた氷川大堰掛かりの農業用水の通水が再開しています

水路の被災により断水となっていた氷川大堰掛かりの農業用水ですが、農林水産省・熊本県の尽力により、幹線・支線用水路の応急復旧と充水が進んでおり、JR より上流の大半の水田においては、給水栓から水が出るようになりました。また、JR より下流の幹線用水路においても、本日、充水試験がおおむね完了する見込みです。

支線用水路の破損等により依然として通水できていない区間がありますが、いちご・トマトの定植等も見据え、引き続き、国・県・町・土地改良区が一丸となって、早期の全線復旧に向け取り組んでいきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

※なお、9月8日（火）～11日（金）にかけて幹線用水路で確認された破損個所の補修工事を行う予定としています。この間は断水となる箇所がありますので、ご理解・ご協力をお願いします。



【暫定取水のためのポンプ設置】



【幹線水路(φ1350 mm)の補修状況】



【通水の状況】



【作業出発時の打合せの様子(農林水産省、熊本県、氷川町、氷川土地改良区)】

(参考) 国、県の支援の内容

《支援内容》

国、県、土地改良区及びJAにより応急対策として排水路及び井戸等からの用水供給が可能となるようポンプ約100台（ピーク時）の設置・管理又は貸出を行っています。

また、幹線・支線用水路の充水試験により確認された漏水箇所の補修を行っています。

(令和8年8月31日現在)

実 施 者	支援者数(延べ人数)
農林水産省	960人
熊本県	355人